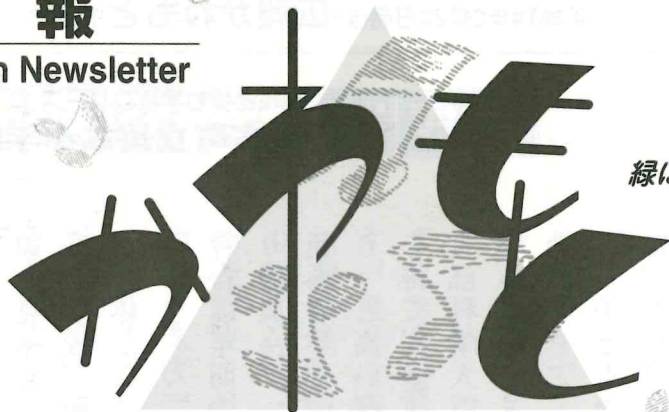




緑にこだます音楽の里

2002 平成14年 February No.370
http://www.web-sarin.co.jp/local/kawamoto

特集 22

地域と歩む学校シリーズ①

川本町立川本小学校

「総合学習」見据え
地域連携を進める



地域連携の一つとして外部講師を招き、造形活動に取り組む川本小学校3年生児童

「完全学校週五日制」の実施や、新しい学習指導要領の導入が、いよいよこの四月からスタートします。そのねらいは「ゆとりの中で子どもたちに自ら学び、自ら考える“生きる力”を育てる」とし、学校に地域や家庭との連携を深め、子どもの個性を生かす特色ある教育を求めています。学校と地域の協力関係をどう築けばよいのか。転換期を目前にした教育現場の取り組みを特集します。

「安全教育」を糸口に
地域との連携を推進

命を大切にする心を養い、適切な安全行動ができる子どもを育てよう。

川本小学校（芦矢修司校長・一〇八人）では、まづ平成十一、十二年度の二年間、日本体育・学校健康センターが委嘱する「安全教育」の指定（全国で五校）を受けて、地域連携で「いのちを育む活動」に取り組みました。

具体的に六年生では、各自が交通事故や火災、地震などといった学習テーマを設定。警察・消防署、役場などの協力を得て、日常生活の中にひそむ危険を調べました。

町に大きな被害をもたらした昭和四十七年の豪雨災害を調査した児童は、町消防団員や被災者から、当時の被害状況や避難の様子を聞いたり、町内に出て水位を伝える表示板を見学して情報を集めていきました。

特集22

地域と歩む学校シリーズ①
川本町立川本小学校

新学習指導要

領を見据え、家庭、学校、地域が一体となった「生きる力」を育む二年間の取り組みは、「特色ある学校づくり」と高い評価を得て、今年度、文部科学大臣表彰を受けました。

「子どもたちは、教科書には書かれていない町の歴史や現状を地域から学ぶことにより、この地で暮らしていることを実感し、問題意識を自ら持つことができるのです」

指導にあたった山口明彦教諭は、地域から学ぶことの大切さをこう説明します。

このような体験教育を重視した問題解決学習を「総合的



な学習」として取り入れ、今年度は、戦時中の体験談を聞いたり、農家の協力を得て、米作りを通じた農業体験を展開。地域の人たちとの連携を繰り返し広げています。



地域の教育資源を活用し 協力体制を築く

地域連携の一つとして、外部講師制度の積極的な活用もしています。

県の特別非常勤講師制度により、今年度は町内三人の女性を登録しています。花・野菜の栽培や土づくり、郷土素材を使った調理実習、紙ねんどなどを使った造形。社会人の専門知識や技術、豊かな経験を生かした多様な学習活動は、効果が大きいに期待されています。

同校では毎朝、全校挙げて「読書タイム」にも取り組んでおり、月二回、母親ボランティアグループによる本の読み聞かせも好評です。

心のゆとりや思いやりを育む一助に、芦矢校長は「読み聞かせグループの皆さんが、児童に素晴らしい心の栄養を与えてください

ます」と自発的な協力を歓迎しています。

「完全学校週五日制への対応は、学校だけでなく、家庭や地域を挙げた総合力が試されます。その一体となった取り組みは、子どもの主体的な学びを生み出す大きな柱となるでしょう」

川本小学校は新たな教育を組み立てる中で、地域や家庭の協力体制が不可欠であることを強調しています。



特集22

地域と歩む学校シリーズ①

川本町立川本小学校

インタビュー

「完全学校週五日制」や「総合的な学習の時間」を盛り込んだ新学習指導要領の実施を目前に、学校教育のあり方が問い直されています。今後の課題と地域連携のあり方について聞きました。

「この四月から、いよいよ毎週土曜日が休みになりますね。」

「完全学校週五日制では、土・日曜日を利用して、子どもたちが家庭や地域の中で、積極的に社会体験や自然体験、文化・スポーツ活動などをするのが叫ばれています。授業内容も、多くの知識を教え込むこれまでの教育から、体験的な学習や問題解決を目指した学習が重視されます」

「いずれにしても、家庭や地域の方々と共に子どもを育てる視点が大切であり、学校教育だけでなく、学校外の教

育と連携した取り組みが求められています」

「川本小学校では、地域連携に向けてどのような工夫に乗り出していますか。」

「画一的といわれる学校の授業を、教科の枠を超えて取

「一人ひとりの情熱や関心が、町の教育力を高める」



川本町立川本小学校

校長 芦矢修司 さん

く「自ら学び自ら考える力」を育んでいます」

「この新しいカリキュラムの展開こそ、現場教師の創意工夫と学校の裁量はもちろんですが、地域がどうかかわるのか、住民一人ひとりの「我が

町の教育」への情熱や関心が必要でしょう」

「具体的な学習展開を教えてください。」

「総合的な学習の試行につながるものとして平成十一年

り組む『総合的な学習の時間』を「切り札」に改善しつつあるところ。自然や文化財、伝統行事、産業など、町内にある多彩な「ヒト・モノ・コト」を教育資源にして、子どもたちに受け身の学習ではな

た。体験教育は、課題を多面的に見る力や観察力を養う絶好の機会となりました」

「国際理解や環境、福祉など単眼的な視点では解決できない課題に対しても、地域から学ぶ総合的な学習は有効な「切り札」と捉えています」

「地域の協力体制がこれまでに以上に必要ですね。」

「そうです。町内には、図書館や音戯館などの施設をはじめ、公民館活動、地域の行事など、子どもたちが地域の中で学ぶ「教材」がたくさんあります。点在する教育資源にまず私たち大人が価値を見いだし、『子どもたちはいかに学校生活を過ごし、地域社会で暮らすのか』—ビジョンを掲げることが不可欠です」

「地域と学校の連携を密にしながらまちぐるみの教育を目指し、新世紀を歩むたくましい子どもたちを育てていきたいと思っています」

「ありがとうございました。」

県道バイパス早期実現を

推進協議会を設立

1/24



バイパスルートについて話し合う協議会の委員

町の中心部を迂回する県道バイパス計画を検討するために、沿線自治会や商工会、議会、町の代表者二十三人で構成する「主要地方道川本波多線バイパス推進協議会」が設立されました。

会長は岡田哲也さん（本町自治会長）、副会長には桑本英助さん（元町自治会長）が選出されました。県が八年前に示したルートは、トンネルで木路原地区に抜けるものでしたが、市街地の空洞化を懸念する住民の声に、町は昨年四月、ルート変更を要望。これを受けて県は十二月、悠邑ふるさと会館から川本高校東側を通過し、新たな橋で久座仁地区へつながる案を示しました。同協議会では今後、まちの活性化に向けて、住民の意見を反映しながら早期にルートを決定し、県に実現を求めていきます。



岩田進校長、桑野真美恵教頭、馬庭範成先生と一緒に記念写真に納まる三原小学校6年児童5人

わたしたちが夢見る 21世紀の川本町②

—川本町立三原小学校6年生—

今のままの町もいいけど、もっと人が増えてお店なども増えてほしいです。
青木友香里

店が少ないし道路も細いので、店をもっと多くして道路が広い町がいいと思います。
浅原可奈子

店がないので、大きい店をつくってほしいです。
池野 秀一

住んでいて楽しい町にしたいので、祭りなどをいっぱいやってください。
多代田 結

今もいいけど、もっと人でにぎわうような場所とかつくった方がいいと思います。
戸田 伶太

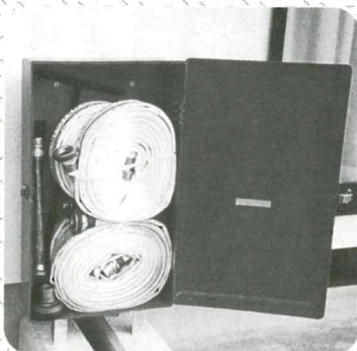
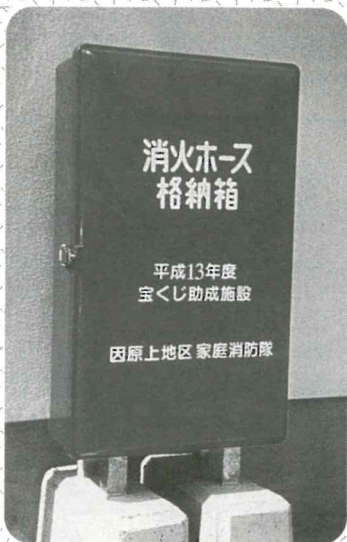
自治宝くじ助成

消防器具を設置

因原上地区家庭消防隊ではこのほど、(財)自治総合センターの助成事業を受けて、地区内三カ所に消防器具一式（ホース、消火栓開閉器具、管鎗）を設置しました。

この助成は、宝くじの普及広報と住民の消防活動に対する認識を深めるために行われているものです。

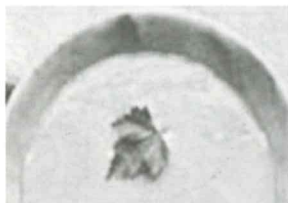
火災発生時の初期消火に、威力を十分発揮するものと期待されます。



国際交流コーナー

イギリス料理教室

こんにちは！川本町国際交流員のアレックスです。



イギリス料理の本当の美味しさを経験したことがありますか？経験した事があるどころ

か、イギリス料理というのは何か全然知らない方も少なくないと思います。イギリス料理はまずいとよく言われていますが、本当はそうでもありません。イギリスの伝統的な家庭料理はボリュームのある料理で、お腹がいっぱいになるまで食べたら、満足感が強いのです。

レストランで食べるイギリス料理は大体3つのコースによって構成されています。一方、家庭では2つのコースが普通です。前菜としてスープが多く、メインディッシュは肉か魚、主食のじゃが芋と茹で野菜、デザートはボリュームのある甘いものです。田舎の伝統的なパブで楽しむと、最もイギリス的です。

実はイギリス料理を食べるのを実現するのに、イギリスまで行かなくてもいいです。3月23日(土)、すこやかセンターで『イギリス料理教室』を行います。私と一緒に3つのコースの食事を作り、食べてみませんか？食後、イギリスの紹介もあります。参加費は1人1,000円で、30人限定ですから早めにご連絡ください！

申込先／川本町教育委員会

☎0855-72-0594

園児といっしょに鬼退治

やすらぎ荘で豆まき会

2/1



やすらぎ荘の入所者と豆まきをする因原保育所園児

特別養護老人ホームやすらぎ荘で、一年の健康を願う「豆まき会」がありました。節分にあわせて行っている恒例行事に、因原保育所園児三十六人も参加。入所者と園児たちは、心の中に宿る鬼を追い払おうと室内に集まり、豆を手で鬼退治の準備。職員がふんした赤鬼や青鬼が登場すると、一斉に歓声が上がりました。「鬼は外」などと元気良く豆を投げつけました。怖くて泣き出す園児もあり、入所者が優しくかばう姿も見られました。鬼を追い払った後は、園児が歌を披露したり、一緒に手遊びをして楽しみました。入所者は「子どもたちはかわいいですね。楽しそうな表情を見ると気持ちになごみます」と嬉しそうに話していました。

シリーズ⑩

集落の活性化を目指して

中山間地域集落維持・

活性化緊急対策事業

この事業は高齢化率の高い集落が地域活性化に向けた活動に取り組む際、県が最高百万円を交付するものです。これまでに承認を受けた集落を紹介します。

(担当・企画財政課)

【下条】無人市の設置、ミルクイーオン米の栽培や梅の加工品づくり、有害鳥獣捕獲檻の設置【白地】無人市の設置、椎茸の栽培、有害鳥獣捕獲檻の設置【市】パソコン整備、IT講習会の開催



国民健康保険

問合せ

役場健康福祉課、住民課

☎0855-72-0633・0632

加入・脱退の届け出を忘れずに

国保（国民健康保険）に加入するとき、やめるときは、かならず14日以内に届け出をしてください。

■国保に加入するとき

- 職場の健康保険などをやめたとき（退職した日の翌日）
- 他の市区町村から転入したとき
- 生活保護を受けなくなったとき
- 子どもが生まれたとき

■加入する届け出が遅れると

加入する資格ができた月の分まで、保険税をさかのぼって納めることになります。

■国保をやめるとき

- 職場の健康保険などに加入したとき
- 他の市区町村へ転出したとき
- 生活保護を受けはじめたとき
- 死亡したとき

■やめる届け出が遅れると

国保の資格がなくなったにもかかわらず、届け出が遅れ、うっかり国保の保険証を使って診療を受けた場合は、国保が支払った分をあとで返すことになります。

保険税はみなさんの医療費の財源です

保険税は、みなさんが病気やケガをしたときの医療費にあてる重要な財源となります。保険税を納めない人がいると、国保の運営がなりたたなくなってしまいます。かならず納期内に納めましょう。

■滞納するとあなたも家族も困ります

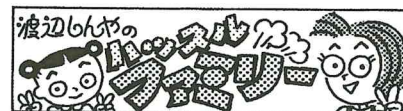
どうしても保険税の納付が困難な場合は、お早めにご相談ください。

ただし、特別な理由もなく保険税を滞納している場合は、つぎのような措置がとられます。

- ①督促を受けたり、延滞金が増加される場合があります。
- ②有効期間の短い「短期被保険者証」が交付される場合があります。
- ③保険証を返すことになり、「被保険者資格証明書」の交付を受けます。（このとき、かかった医療費はいったん全額自己負担となります。）等

医療費が高くなったら払い戻しがあります

病気やケガで同じ人が、同じ月内に、同じ医療機関でお医者さんにかかり、高額の一部負担金を支払ったときは、申請により限度額をこえた分が高額療養費として支給されます。



3月の保健行事

川本町役場健康福祉課

☎0855-72-0633

6日(水)●リハビリ教室

10:00~15:00

すこやかセンター

7日(木)●断酒会

19:00~21:00

すこやかセンター

12日(火)●乳児相談

13:00~14:00

すこやかセンター

●成人健康相談

14:00~15:00

すこやかセンター

14日(木)●三原地区健康相談

9:30~10:30

朝日ヶ丘会館

10:45~11:30

親和集会所

15日(金)●こころの健康相談

13:30~15:00

川本健康福祉センター

20日(水)●リハビリ教室

10:00~15:00

すこやかセンター

28日(木)●乳幼児健診

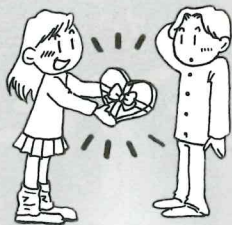
すこやかセンター

13:00~ 1歳6カ月児

13:30~ 4、5カ月児

14:00~ 1歳3カ月児

14:20~ 3歳児



交 差 点 情 報

川本町役場総務課

〒696-8501

島根県邑智郡川本町大字川本545-1

☎ 0855-72-0631

Fax 0855-72-0635

Hp <http://www.web-sanin.co.jp/local/kawamoto>

E-mail kawamoto@web-sanin.co.jp

町の人口

♂ 男 2,273人 (2,315)

♀ 女 2,432人 (2,460)

♂ ♀ 計 4,705人 (4,775)

うち65歳以上 1,624人 (1,654)

うち15歳未満 518人 (531)

🏠 世帯数 2,014戸 (2,033)

平成14年2月1日現在の住民登録による
()は前年同月

暮らし

ホームページアドレス変更

4月1日から川本町のホームページアドレスが変わります。

ホームページアドレス

<http://www.kawamoto-town.jp/>

メールアドレス

e-mail:kawamoto@kawamoto-town.jp

表彰おめでとうございます

「第9回社会を明るくする運動全国作文コンテスト」(法務省)で優秀賞に選ばれました。

○小学校の部 (応募20,000点)
全国連合小学校長会会長賞
川本小4年 法橋厚美さん

『スカッとする気持ちを広げたい』通学路でのごみ拾いを通じ、美化活動の広がり呼びかけた。

○中学校の部 (応募55,000点)
全国更生保護婦人連盟会長賞
川本中2年 下垣美苗さん

『言葉の持つ意味』言葉の持つ意味を正しく理解し、温かい言葉を使いたいと訴えた。

固定資産課税台帳の縦覧

固定資産(土地、家屋、償却資産)の価格や課税標準額(税額計算するときの基礎となるもの)を登録した固定資産課税台帳(名寄帳)をご覧になれます。

期 間 3月1日(金)~20日(水)

※土・日曜日は除く

時 間 8:30~17:00

場 所 役場住民課

縦覧できる方 所有者、納税義務者、納税管理人

問合せ 役場住民課

☎0855-72-0632



国民年金

第3号被保険者の届出

現在、第3号被保険者に関する届出はお住まいの市町村ですが、4月から、配偶者の勤務先の事業主等に提出し、事業主等が社会保険事務所へ届けることとなります。第1号被保険者は今までどおり、お住まいの市町村です。

第3号被保険者 会社員や公務員(第2号被保険者)に扶養されている配偶者(20歳以上60歳未満)で、年収130万円未満の方。

問合せ 役場住民課

☎0855-72-0632

(特別) 児童扶養手当

児童扶養手当《受給資格》

●18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童

または20歳未満で国の定める障害の状態にある方を養育している方(母子家庭)。

●ただし、死別の場合等、遺族年金が受給できる方は対象になりません。

※所得制限があります

特別児童扶養手当《受給資格》

●20歳未満の身体または精神に障害のある児童の保護者。

●ただし、児童が施設に入所している場合等は対象になりません。

※所得制限があります

問合せ 役場健康福祉課

☎0855-72-0633



会員募集

俳句クラブ「五七五の会」

五七五の会(代表・森口時夫、会員6人)では、悠湯プラザを活動の場として俳句を通じ親睦を図っています。初心者でもご心配なく!“言葉遊び”からはじめましょう。

問合せ 悠湯プラザ

☎0855-72-3300



相 談

夫や恋人による暴力《ドメスティック・バイオレンス》は、社会的、経済的、肉体的に優位に立つ男性が女性を暴力で支配する行為で、夫婦げんかなど個人的事情の範囲を超え女性の人権を侵害する明らかな犯罪です。どのように問題を解決すればよいのか、気軽にご相談ください。

女性の人権ホットライン・松江

☎0852-26-8869

性犯罪110番(島根県警本部内)

☎0852-23-4110

インタビュー

合併考

がっぺい
こう
(8)

兵庫県篠山市。平成十一年四月、旧多紀郡四町が合併して生まれた同市は、理想的な合併を遂げたモデル都市という評価を得て、連日、全国の自治体が視察に訪れています。

—今回は、合併後の課題についてうかがいます。

「中心街ばかりが発展して、周辺部は置き去りにされないか。本庁が遠いと住民の声が反映されにくいのでは」。合併を機に、一気に行政圏域が大きくなったことにより、旧多紀郡四町の住民は第一に、行政とのつながりが薄れていくのではないかと不安を抱えていました。そこで広報公聴活動に力を入れました」

—具体的な取り組みは。

「旧四町の『まちの個性』は何か、市になったらどのような相乗効果が現れるのか、暮らしに関わる事柄を具体的に広報紙などで伝えていきました。公募による『百

合併後のまちづくり(下) 兵庫県篠山市⑤

人委員会」や『女性委員会』も設立しました。地域の情報提供や、課題を提言してもらい、まちづくりに参画してもらっています」

「行政規模は大きくなっても、住民の暮らしを支える基本的なコミュニティ(共同社会)は地域にあります。小学校区、あるいは自治会単位でのコミュニティ活動を広報紙で事例紹介する。そうして、一人ひとりのまちづくりへの関心を高めていく姿勢が欠かせません」

—どのようなまちづくりを描いていますか。

「暮らしの中で生じる様々な地域課題や多様なニーズを、住民と行政が一体となって検証、解決していく『協働のまちづくり』です」

「私は旧篠山町時代、企画部門にいたことがあります。施設整備に力を注ぎ、近隣の市町村との対外的な競争に目を奪われるまちづくりのあり方に疑問を持っていました。しかし、旧多紀郡の広域課題を解決する策として浮上した合併論議により、まちづくりは、地域住民の暮らしの豊かさを追求するものであり、どのような未来を描くのか、住民の関心と協力が不可欠だと実感しました」

「合併による効果は、財政支援により即効的に表れるものもありますが、このように、住民や行

政がともに努力をしないと、暮らしの質が向上できないものもあるんです」

—協働のまちが実現できると思いますね。

「本当に大変なのはむしろ合併後です。今は、旧多紀郡が力をあわせたから市になったのだという住民意識を原動力に、協働のシステムづくりの真つ最中です。特に福祉や教育は、住民パワーを活用できる格好の分野だと感じます」

「合併特例法による国からの財政支援が打ち切られたとき、胸を張って見てもらえるまちになっていたら、合併が本当に成功したと言えるでしょう」

—先進地の貴重な事例を聞かせていただきたいと思います。

兵庫県篠山市 合併への経緯

平成4年8月
旧多紀郡4町議会議員による研究会設立で合併が必要との判断
平成7年
4町の議会議員選挙で合併問題が再浮上
平成8年3月
4町任意の合併研究会を設置
平成9年4月
法定の合併協議会を設置
平成11年4月 篠山市が誕生
ホームページアドレス
<http://www.city-sasayama.hyogo.jp/>



兵庫県篠山市政策部
おおついで長 大対信文 さん

リレーエッセイ

私の趣味

22

石田悦子

(川本町元町)

「私が大切にしていること」

好きなこと、楽しみは沢山ありますが、私の一番は絵本と子どもたちです。私は、子どもたちに様々な場所や色んな本を読み、ときには人形劇やパネルシアターなど演じることもあります。この絵本を読んだら子どもたち、どんな顔するか、どんなことばが返るか、

子どもたちのころはとっても自由で、絵本やおはなしって、その楽しい未知の世界へ子どもたちをつれていってあげる手助けをしているような気がしています。そして、そんなときを共有できることが嬉しくて、私の生活の中でとても大切にしていることです。



ブックトークやストーリーテリングはただ今修行中、オカリナも上手になりたいな。

編集後記

「子育て支援はまちの総合力を推し量るバロメーター」といわれています。なぜなら「子育て」という大事業は、家庭はもちろんのこと、家庭を取り巻く「コミュニティ」の

力や地域住民のコンセンサス(合意)が必要だからです。今月の特集取材を通じて「教育」も同じことがいえると実感。今後も教育現場を取り上げながら「完全学校週五日制」のねらいを皆さんと共に考えていきたいと思っています。(K)